



広報

にのみや

第264号 発行日 昭和59年12月10日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画課 二宮961番地 電話71-3311

二宮町町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう
1. ふれあいを深め、こばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう
1. きまりを守り、良習をはぐむ住みよい二宮町をつくりましょう
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう



知足寺の時の鐘は、1日3回朝5時、昼11時、夕方5時につきます
「コーン」という音は、仏の説法で「生きている事に感謝する」意味が込められています

知足寺の鐘楼堂および梵鐘は、延享3年(1746年)建造、寛文13年(1673年)に再
築され、以来「時の鐘」として住民に親しまれてきましたが、太平洋戦争で壊鐘と
ともに供出してしまいました。が、昭和48年3月18日、当時の加藤平塚市長の計らいに
よって寺に帰ってきました。

年の瀬にあたり

二宮町長

柳川 賢二

年の瀬を迎え、みなさま方におかれましては、忙しい毎日をお過ごしのことと存じ上げ
ます。

我が国の経済情勢は緩やかな回復の兆し
は見せているものの、国・県の財政状況は
依然、硬直状態となっております。

来年度、国では行財政改革の具体方策とし
て国庫補助金の1%削減を打ち出しており、
私は関東町村会連合会と町村会長の立場とし
て、また二宮町長として補助金削減に強く反
対する傍ら、自治省などに出向き陳情を行っ
ております。

併せて自己財源(町税)の伸びを鑑み、県
支出金の確保を県知事・副知事および各部長

楽しい正月にしよう

年末年始

防犯・交通事故
火災などに注意

今年も残り少なくなりました。年の瀬
は、一年の締めくくり、新春を迎える準備
など、なにかと気ぜわしく、犯罪や事故
に対する警戒心がおそろそかになります。あ
わせて、一年で一番お金の動きが激しくな
り、安易に現金を手に入れようとする者が
多くなり、スリやひったくり、空き巣に強
盗などが多発します。

また、年末年始はとくにお酒を飲む機会
が多く、飲酒運転をしたり、営業車の増加、
それに初詣での車などにより交通事故の多
発が予想されます。

なお、この時期は忙しさのあまり、つい
火の元、火の取扱いが粗雑になりがちです
ちよつとした不注意から火災へと発展し、
尊い生命・財産を一瞬にして失くしてしま
います。

みなさん一人ひとり充分注意して、あわ
たらしい年の瀬を無事にお過ごしください。

年末年始特別警戒

防犯特別警戒	12月1日～1月10日
(カギかけは家族みんなの合言葉)	
飲酒運転追放運動	12月10日～1月10日
(ゆく年くる年みんな笑顔で交通安全)	
歳末火災特別警戒	12月23日～12月31日
(あとでより今が大切 火の始末)	
サイレンの吹鳴	12月27日～12月31日
	21時から1分間

等に強く要請している毎日です。

たとえば、道路建設一つ施工するにも町の
財源はもろもろのこと、国・県の援助を受け
なければ出来ない為、その施設の必要性、緊
急性等を訴えて、目標年次内に完成するよう
補助金の確保が必要なのです。

この一年を振り返り、吾妻山公園化整備事
業等に対し、色々なご意見をお寄せいただき、
厚くお礼申し上げます。

光陰矢の如し。のぞきおりの時の経つのは
早く、毎年の師走になりますと、「ようやく
無事に一年終りをた、やれやれ!」と私自
身思い、大みそかの除夜の鐘に聞き入りま
す。来年も精いっぱい頑張りたいと鐘の音
に響き、ゆくゆくは年明けとなります。

来年も「明るく住みよい町づくり」をめざ
すため、私をはじめ職員一同、一丸となつて
町政に取り組んでまいります。

最後に歳の瀬の寒気厳しき折、健康に留意
され、新しい年への一段の飛躍をお祈りし
して、あいさつにかえさせていただきます。

